

平成21年度事務事業評価シート (20年度実施事業分)

事業番号	06 04 07	中期総合計画主要施策番号	1-04、2-02	担当課	部・課	環境部自然保護課
事業名	信州の登山道リフレッシュ事業			内線	2773	
				E-mail	shizenhogo@pref.nagano.jp	
事業の概要等	事業の目的	管理者が不明確な登山道の維持や補修の取り組みに、山岳関係者がお互いに連携していく体制を確立する。				
	事業の必要性	【現状(事業の目的との間にどのようなギャップがあるか)】 今後も中高年登山者の増加が見込まれるが、管理者不明確な登山道がかなり存在し、維持や補修が十分に行われていない。				
		【原因分析(ギャップが発生している原因は何か)】 多くの登山道が古来自然発生的に成立したために、登山道敷地の使用権限が不明確である。				
		【課題の特定(事業の実施により解決しようとする課題は何か)】 本来登山者は、相当の困難・危険を承知のうえ自己責任に基づき登山道を利用しているが、山岳県長野として貴重な山岳環境を保全し、また全国から訪れる登山者を安全に迎え入れるために、継続的な登山道の維持管理が最低限必要である。				
	事業内容	登山道利用者等からの協力金を活用して、山小屋関係者が行う管理者不明確な登山道の日常的な維持補修の取り組みに対して支援を行う。(補助率1/2以内)				
実施期間	H17 ~ H22	根拠法令等	自然公園法、信州の登山道リフレッシュ事業実施要綱・要領			
成果と達成状況	事業の目指す成果	達成度(期待どおり)の判定基準(H20)			達成状況	評価
	管理者が不明確な登山道の維持や補修の取り組みに、山岳関係者がお互いに連携していく体制が県内各地域で確立される。	管理者が不明確な登山道の維持や補修の取り組み体制が、県内それぞれの地域で年々着実に増加すること。			平成20年度に管理者不明確な登山道の整備に取り組む団体が2団体増加し、累計で10地域10団体となり、着実に増加している。	a.期待以上 b.期待どおり c.やや下回る d.期待以下
事業コスト	区 分	単位	19年度	20年度	21年度(当初)	20年度の概要
	最終予算額 (A)	千円	3,000	3,000	2,700	国庫・県単 県単
	決 算 額 (B)	千円	3,000	2,790		実施方法 補助
	B(H21はA)のうち一般財源	千円	3,000	1,696	2,700	歳出節別内訳等
	概 算 人件費	従事する職員数 人	1.00	1.00	1.00	補助金:2,790 (単位:千円)
	概算事業費 (B(H21はA)+C)	千円	10,140	9,939	9,849	
事業実績	内 容	単位	19年度	20年度	21年度(予定)	左記以外の20年度の実績
	事業実施地域数	地区	8	7	10	
	事業対象団体	団体	8	10	10	
	登山道利用者等からの協力金	千円	2,242	3,694	3,800	
事業の課題	区 分	判 定 ・ 説 明				
	事業のニーズの変化	増加	横ばい	減少	判 定 の 説 明 ・山岳県長野として、管理者不明確な登山道であっても、最低限の維持管理への取り組み支援は必要である。 ・各地域で山小屋関係者の取り組みが定着し、事業目的の達成を確認するまで県が関与する必要がある。 ・事業の効率性を高めるために、登山者のみならず一般企業等に対しても、多くの協力金を得るための広報活動の検討を進める。	
	県の関与を見直す余地	余地なし	当面余地なし	余地あり		
	有効性を高める余地	余地なし	当面余地なし	余地あり		
	効率性を高める余地	余地なし	当面余地なし	余地あり		
	課題の総括	今後も続くであろう登山道整備のニーズに対して、更に山岳関係者への支援が必要と考えるため、登山者のみならず一般県民に認知されるよう広報し、企業等からの協力も得たい。				